三水会会報

北里大学海洋生命科学部
同窓会会報　第　70　号

平成27年9月発行
編集者　内藤　文隆
発　行　三水会（北里大学
海洋生命科学部同窓会）
事務局　〒246-0031 神奈川県
横浜市瀬谷区瀬谷5-22-1
TEL フリーダイヤル
0120－873－135

目次／三陸臨海教育研究センター	P.1
平成27年度定期総会報告	P.2
〃	P.3
関西地区親睦会／緒方先生退職記念パーティー	P.4
何十年経っても三陸の仲間	P.5
潜水部	P.6
掲示板／会員の皆様へ	P.7
北里大学同窓会講演会案内	P.8

北里大学海洋生命学部附属三陸臨海教育研究センター（SERC）

1号館（旧　F-4号館）

2号館（旧　MB-5号館）

全景

体育館

2015年８月撮影

http://kitasato-sansuikai.jp/　E-mail information@kitasato-sansuikai.jp

「平成27年度　三水会定期総会報告」

　平成27年5月16日（土）午後5時より北里大学白金キャンパス薬学部一号館　１６０３教室において、平成27年度三水会定期総会が開催されました。

　代議員総数52名に対し、出席数51名（本人出席31名、委任状提出者20名）欠席1名となりました。

　冒頭、議長団の選出では議長に水産増殖学科9期・小原初江氏、続いて議事録署名人には水産増殖学科5期・奥村誠一氏、水産食品学科6期・河村尚之氏を選出いたしました。その後議事に入り執行部より、平成26年度事業報告及び収支決算報告が行われ、続いて監査報告が行われました。そして原案通り承認されました。

　引き続き平成27年度事業計画及び予算案の説明があり、原案通り承認されました。また今総会では3年間の任期満了での改選が行われ、提出された第13期三水会役員推薦者名簿を全会一致で承認しました。新執行部の任期は平成27年5月16日から平成30年度総会までとなります。

　総会終了後、同教室で来賓としてお迎えしました菅野学部長より写真を交えて、三陸校舎解体工事の現状や、三陸復興支援の推進として三陸臨海教育研究センターについての説明や、海洋生命科学部の近況等のお話がありました。

　その後、来賓の緒方副学長も加わり「レストラン白金」にて懇親会を開催し互いの交友を深めました。

『平成26年度事業報告』

1. 会報の発行

　同窓生の動向、海洋生命科学部の現状、および各種情報を含む会報を平成26年9月と平成27年3月に二回発行した。

2. 三水会ホームページの運営管理

　会員に対し本会の各種情報を提供した。

3. 会員の現状の把握

　全学同窓会と連携し、会員情報の正確性の向上に努めた。

4. 親睦会の開催

　関西地区の会員を主な対象とした親睦会を平成26年6月8日（土）に大阪市にて開催した。

5. 同期会等の助成

　研究室同窓会および地方親睦会等、卒業生による集会の費用を一部助成した。

6. 学部・学生との懇談会の開催

　学部教員および在学生との懇談会を開催し意見交換を行った。

7. 準会員活動助成

　クラブの活動経費、準会員活動経費の一部を助成した。

8. 就職ガイダンスの開催

　各分野の卒業生による就職ガイダンスを海洋生命科学部在学生を対象に、平成26年10月1日相模原キャンパスにて開催した。

9. 漁船海難遺児育英会寄付

　漁船海難等により親を亡くした子弟に学費の援助を行っている漁船海難遺児育英会に対し寄付を行った。

10. 東日本大震災に係る支援活動や義援金活動の実施

　平成23年3月11日に発生した東日本大震災で大船渡市三陸町にも甚大なる被害が発生したことに伴い、被災された三陸町の方々を支援するため、昨年度より引き続いて募金活動を行った。

『平成27年度事業計画』

1. 会報の発行

　同窓生の動向、海洋生命科学部の現状、および各種情報を含む会報を平成27年9月と平成28年3月の二回発行する。

平成26年度収支決算書

平成27年３月31日現在

支出の部			収入の部		
科　目	予算額	決算額	科　目	予算額	決算額
1. 事業費	3,600,000	2,950,947	1. 部会助成金	4,622,000	4,622,000
(1) 会報の発行費	2,200,000	2,028,495	2. 会報郵送料補助	684,000	684,000
(2) 三水会HPの運営費	200,000	198,442			
(3) 親睦会の開催費	400,000	200,000	3. 前年度繰越金	3,396,710	3,396,710
(4) 同期会等助成費	200,000	85,000			
(5) 大学・学生との懇談会費	100,000	82,210	4. 預金利息	3,000	874
(6) 準会員活動助成金	200,000	200,000			
(7) 就職ガイダンスの開催費	250,000	106,800	5. 雑収入	10,000	15,000
(8) 漁船海難遺児育英会寄付	50,000	50,000			
2. 運営・管理費	2,370,000	1,816,756			
(1) 印刷・通信費	420,000	210,922			
(2) 会議費	700,000	504,314			
(3) 総会費	250,000	199,958			
(4) 事務局費	950,000	875,812			
(5) 慶弔費	50,000	25,750			
3. 予備費	2,745,710				
4. 次年度繰越金		3,950,881			
合　計	8,715,710	8,718,584	合　計	8,715,710	8,718,584

2．三水会ホームページの運営管理

会員に対し本会の各種情報を提供する。

3．会員の現状の把握

全学同窓会と連携し、会員情報の正確性の向上に努める。

4．親睦会の開催

各地区の会員を対象とした親睦会を開催する。

5．同期会等の助成

研究室ＯＢ会及び地方親睦会等、卒業生の集会の費用の一部を助成する。

6．大学・学生との懇談会の開催

学部教員および在学生との懇談会を開催し意見交換を行う。

7．準会員活動助成

クラブの活動経費、準会員活動経費の一部を助成する。

8．就職ガイダンスの開催

各分野の卒業生による就職ガイダンスを海洋生命科学部在学生を対象に行う。

9．漁船海難遺児育英会寄付

漁船海難等により親を亡くした子弟に学費の援助を行っている漁船海難遺児育英会に対し寄付を行う。

10．東日本大震災に係る支援活動や義援金活動の実施

平成23年３月11日に発生した東日本大震災で被災された三陸町の方々をご支援するため、引き続き義援金募金活動を行う。また、義援金の寄付先の選定については、三陸町の復興に資するところについて協議の上で選定することとする。

11．講演会の開催

北里大学同窓会と連携して講演会を開催する。

平成27年度予算

支出の部		収入の部	
科　　目	予算額	科　　目	予算額
1．事業費	4,950,000	1．部会助成金	4,792,000
(1) 会報の発行費	2,250,000	2．会報郵送料補助	704,000
(2) 三水会ＨＰの運営費	200,000		
(3) 親睦会開催費	400,000	3．前年度繰越金	3,950,881
(4) 同期会等助成費	200,000		
(5) 大学・学生との懇談会費	100,000	4．預金利息	3,000
(6) 準会員活動助成金	200,000		
(7) 就職ガイダンスの開催費	250,000	5．雑収入	10,000
(8) 漁船海難遺児育英会寄付	50,000		
(9) 講演会開催費	1,300,000	6．　講演会開催費	1,300,000
2．運営・管理費	2,370,000		
(1) 印刷・通信費	420,000		
(2) 会議費	700,000		
(3) 総会費	300,000		
(4) 事務局費	900,000		
(5) 慶弔費	50,000		
3．予備費	3,439,881		
合　　計	10,759,881	合　　計	10,759,881

三陸校舎の解体風景を説明する高橋会長

平成27年度三水会関西地区親睦会報告

水産増殖学科　23期
北吉　直子

先月の7月4日に京都にて関西地区親睦会を開催いたしました。暑い時期にもかかわらず、お集まりいただきありがとうございました。遠方よりはるばるお越しいただいた卒業生の方々も多数おられ、なつかしい一時を過ごすことが出来ました。

今回はゲストに児玉先生、菅野先生をお迎えし、先生方の近況や、学校の様子などをお話しいただきました。遠く三陸に思いを馳せながら児玉先生のお話を聞き、少し学生に戻ったような皆さんの表情が印象的でした。菅野先生には現在のキャンパスや後輩たちの様子を伺い、また、三陸キャンパスの活用についても伺うことができ、今後の展開を期待するとともに、じっくり見守り協力していきたいという思いを強くもちました。

菅野学部長

そして何よりも、久しぶりに集まったメンバーで各テーブルは大盛り上がり。時間があっという間に過ぎてしまい、その後2次会、3次会と昔と変わらない飲みっぷりに何故か安心しながら、終電に駆け込んだ方々もおられたご様子でした。いろいろに懐かしい思い出を話し合うと同時に仕事の話もありで、今後の広がりを感じる事の出来る会となり、良かったと思います。

いつも大阪では変化がないと今回京都にしたものの、7月の京都はイベントが多く、また祇園祭もあり遠方よりお越しの方々のホテルが取れないなど、今後開催場所と日時を考えるうえで参考になる会となりました。今後もより多くの会員に出席していただけるように検討協議しながら本会を盛り上げていく所存でありますので、次回も懲りずにご参加くださいますようお願い申し上げます。また、最後になりましたが、今回、先生方にはいろいろとお忙しい中、わざわざ関西にまで足を延ばすことにご快諾いただき誠にありがとうございました。また、三水会から援助金をいただき大変ありがたく、心より感謝申し上げます。

緒方武比古教授の最終講義を受けて

2004年度水産微生物学研究室
卒業生　関口峻允・吉成麻有

平成27年7月25日、緒方武比古教授の最終講義と退官記念パーティーがホテル　ザ・エルシィ町田で開催されました。会場には福代康夫先生、児玉正昭先生をはじめ緒方先生と縁の深い先生方、水産生物化学研究室・水産微生物学研究室出身者、また多くの卒業生が集い、先生の退官を盛大に祝いました。先生は終始気恥ずかしそうな微笑みを浮かべられ、その隣では奥様が優しい笑顔で先生を見守る、そんなお二人のお人柄溢れる明るくやわらかな会となりました。

会の前半では卒業生が先生との想い出を語り、研究活動・ソフトボールでの負けず嫌いな一面だけでなく、学生達が結託して先生の顔にクリームパイを投げつけたという仰天のエピソードも披露されました。続いて最終講義と題した先生の講演では、学生時代と変わらぬ調子に気持ちは一気に遠く三陸の地に戻り、学生気分で授業を受けているようでした。先生は渦鞭毛藻の研究成果を交えながら、「互いの多様性を尊重し合いながら人生を楽しもう」というメッセージを私たちに送ってくださったように感じました。

後半戦は、150名を超える参加者とともに盛大ながらもアット

笑顔はじける緒方先生

ホームなパーティーとなりました。先生の若かりし頃から現在までをまとめた写真スライドでは、児玉先生と海外で研究に取り組む姿から、還暦祝いで嬉しそうに被り物を身につけるお茶目な姿まで紹介され、皆で昔を今を多いに語り合いました。

学部長を務められた期間には東日本大震災が起こり、先生は口には決して出されませんでしたが、大きな悲しみ・悩みを抱えながら、厳しい決断を迫られたこともあっただろうと想像します。未だ震災の影響は各地で色濃く残っていますが、先生が苦しみながらも北里大学海洋生命科学部を牽引してくださったことは決して忘れられないことの一つです。そんな先生へ感謝の気持ちを込めて、花束と旅行券が贈られました。「引退したら全国を旅行したい」と夢を語っていた先生にぴったりのプレゼントとなったのではないでしょうか。ぜひ引退後は奥様と一緒にゆっくりと趣味を楽しんでいただきたいと思います。

卒業生とともに

パーティーの最後は、先生の挨拶だけでは終わらず、十八番のモノマネ披露、さらには酔いがまわる伝統の踊り（？）で会場の雰囲気は最高潮に、万歳三唱で大盛況のまま幕を閉じました。私は改めて水産学部に入学し、先生のもとで仲間と学べたことに感謝するとともに、大きな喜びを感じました。

今回、退官記念パーティーの開催に伴い卒業生への連絡に苦戦したと聞きました。それにも関わらずほぼ口コミで全国各地から多くの方々が集まったことに、学部の強い絆を感じました。

最後になりますが、世話人を勤めてくださった小檜山篤志先生・山田雄一郎先生、そして運営に携わってくださった皆様に感謝いたします。

現在、緒方先生は北里大学副学長として相模原キャンパスにいらっしゃるそうです。今回都合により残念ながら参加できなかった卒業生の皆様は、一度訪れてみてはいかがでしょうか？あの優しい笑顔が待っていますよ。

何十年経っても三陸の仲間!!

北里大学水産学部水産食品学科
15期　島根　勝美

来る2015年6月26日（金）夜、三陸で共に過ごした先輩後輩一同が集まりました。

今回は、週末の金曜日の都内という事で水産料理がとっても美味い、メディアでも取り上げられている日本橋馬喰町にある「海鮮居酒屋　おさかな本舗　たいこ茶屋」にて関東周辺在住の水産学部7期生の先輩から20期生の後輩までの16名で懐かしい三陸の思い出を語らいました。

何十年経ってもやはり三陸で過ごした思い出は、皆さん共通する話題がたくさんありまして、当日は同期の加藤さん以外は全て初顔合わせでしたが、とても初顔合わせとは思えないほど、乾杯から10分もすると、その16名の場所だけは、まるで三陸にいる様な場所になっていました。

1988年漁火祭風景より

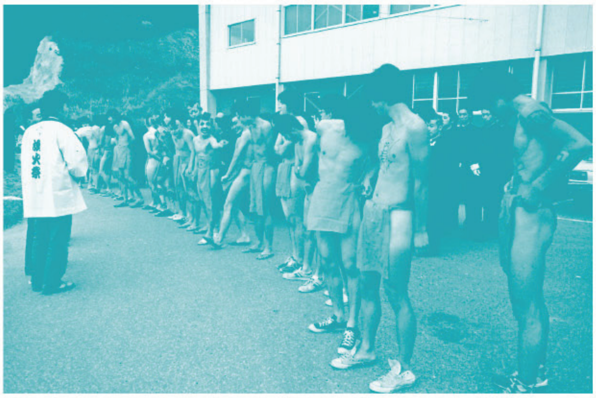
こちらのお店は、時間毎のイベントにお客が一同に参加して盛り上がるのが特徴のお店でしたが、三陸のOBの皆さんはもう思い出話に花が咲き、全く不参加!!

飲み放題という事もあり、勝手にビールを取りだしたり、焼酎をロックで飲みだしたり、いっきをしたりと皆、学生に戻った様な感じで飲んで食べて大変盛り上がった3時間でした。

震災後、私達が学生時代三陸で住んでいた寮や下宿はありませんが思い出は一生消える事はなく、社会人になって今の自分の立場や地位がどうであろうとも学生時代を共に過ごした仲間は、一生先輩であり後輩です。

私達が卒業した後、時代の背景に伴い、水産学部から海洋生命学部に名前が代わり三陸と言えば「大漁祭り」というくらい学生の一大イベントだった「大漁祭り」も無くなり三陸OBとしては、非常に寂しい限りですが、実は今、三陸時代の「大漁祭り」を行いたいというたくさんの仲間が是非、

相模原キャンパスにて三陸ＯＢの仲間による１日限りの「大漁祭り」を行うのが夢です。
　この会報を読んで「また皆さんと一緒に楽しみたい」「一緒に踊ってみたい」「一緒に一升瓶を回し飲みしたい」「赤ふんどし懐かしいなあ」って感じている先輩の皆様　後輩の皆様是非実現させましょう！私が責任もって「北里ドンパン節」の口上を行わせて頂きます「押忍！」いつまで経っても、これから先もずっと三陸で過ごした仲間は一生の友です。
　次回は、更にたくさんの三陸ＯＢの仲間と美味しいお酒が飲めればと思っております。


1988年漁火祭風景より

平成27年度三水会準会員活動助成

海洋生命科学部北里会
潜水部主将　３年　秋元咲乃

　この度は、三水会準会員活動助成を交付して頂き誠にありがとうございました。私たち海洋生命科学部北里会潜水部の活動を評価して頂けたことを、大変光栄に思っております。潜水部部員一同を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。
　震災後、ここ相模原キャンパスへ移転してから５年が経ちました。この潜水部は三陸時代に設立され、現在の一年生は44期となりました。現在は 男子39名 女子22名の総勢61名の部員で活動しています。今はおもに伊豆半島を中心とした各地にて活動を展開し、さまざまな海へ挑み続けています。
ここまで活動を続けられているのは、相模原に移ってからの部の基盤を築いてくださった先輩方、ご指導下さった朝日田先生、それを支え応援して下さったＯＢ・ＯＧの皆様方のお力添えがあったからだと思います。本当にありがとうございます。
　昨年の秋に開催したＯＢ・ＯＧ会のバーベキューを通してもまた、世代を超えた潜水部員としての繋がりが深まり、より一層これからの活動を充実させていこうという気持ちが強まりました。設立当時からの意志や伝統を受け継ぎつつ、現在の潜水部の新しい活動を開拓することで、少しずつ進化していこうと思います。まだまだ未熟な点も多々あるかと思いますが、これからも安全潜水を第一に活動に励んで参りますので、ご支援、ご指導のほど宜しくお願い致します。

三水会会員の皆様へ

新住所の登録や住所変更の手続きが下記にて出来るようになりましたのでご利用ください。
次の方法にて変更願います。

1．パソコンから：北里大学同窓会ホームページのトップページの「会員登録データの変更について」
https://business.form-mailer.jp/fms/43980d3846101

2．スマホから：右のＱＲコード
https://business.form-mailer.jp/fms/43980d3846101

3．その他：(1) 北里大学同窓会会報同封の会員登録データハガキ
(2) FAX：03-3444-3369

＊お問い合わせ先：北里大学同窓会事務局　TEL：03-3446-7309

“掲　示　板”

■ 第50回北里大学同窓会講演会のご案内

平成27年11月７日（土）午後１時より次頁でご案内のとおり講演会を開催します。当日、相模原キャンパスは北里際期間中で賑やかです。また、海洋生命科学部も三陸より移転して４年が経過し、新校舎玄関ホールのミニ水族館も充実しました。会員のみなさん、この機会に母校を訪れてみては如何でしょうか。

佐藤寛志氏プロフィール

講演テーマ「越喜来の海から見た再生」
1974年　岩手県花巻市生まれみちのくダイビングリアス経営 NPO法人三陸ボランティアダイバーズ代表　タイのシャム湾、アンダマン海、マーシャル諸島でダイビング修行をしたのち、地元岩手でダイビングショップを開業。大船渡市三陸町を中心にレジャーダイビングの普及に努める。また鮭の遡上や産卵を観察するサーモンスイムを開催している。
代表を努めるNPO法人三陸ボランティアダイバーズが、2014年　第一回環境省グッドライフアワードにて環境大臣賞最優秀賞を受賞。
小学校から大学、一般向けにも講演活動を行っている。2014年には小学校の道徳の副読本に活動が掲載される。現在も三陸町を中心に海中清掃や復興支援を行っている。

三國清三（みくに きよみ）オテル・ドゥ・ミクニ　オーナーシェフ

1954年北海道増毛町生まれ。15歳で料理人を志し、札幌グランドホテル、帝国ホテルにて修業。
1974年駐スイス日本大使館の料理長に就任。大使館勤務の傍ら、フレディ・ジラルデ氏に師事する。その後も、トロワグロ、オーベルジュ・ドゥ・リル、ロアジス、アラン・シャペル等の三つ星レストランで修業を重ねる。
1985年東京・四ツ谷にオテル・ドゥ・ミクニをオープン。
1999年フランスの高級レストランの料理人を中心とする組合（フランス高級料理組合）に日本人で初めて加入。日本フランス料理技術組合を発足。こちらはフランスの組合と日本の組合が相互に協力して行政との交渉や広報活動、料理人の育成や子どもの味覚教育等に取り組む組織。
2000年九州・沖縄サミット福岡蔵相会合の総料理長を務める。
2007年厚生労働省より卓越した技能者「現代の名工」として表彰される。
2010年フランス共和国農事功労章オフィシエを受勲。
2011年フランスヴェルサイユ宮殿にて、フランス料理がユネスコ世界無形文化遺産へ登録されたことを祝したガラ・ディナー「世紀の晩餐会」が開催され、料理をサポートするグランシェフの日本代表として参加。
2012年全日本・食学会 副団長に就任。
2013年６月総理大臣官邸にて行われた、オランド・フランス共和国大統領と安倍総理大臣による「日仏ワーキングランチ」の総料理長を務める。
11月フランスの食文化への功績が認められフランソワ・ラブレー大学にて名誉博士号を授与される。
12月農林水産大臣及び経済産業大臣より、2015年ミラノ国際博覧会日本館サポーターに任命される。
2014年９月一般財団法人（2015年１月１日より公益財団法人へ移行）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議の顧問に就任。
2015年公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会顧問に就任。
現在、子供の食育活動や、復興支援活動「子どもたちに笑顔を！」笑顔プロジェクトを継続している。

■ 平成27年度三水会北海道地区親睦会を開催します

日　　時：平成28年2月20日（土）　午後５時
場　　所：ネストホテル札幌駅前（前回と同じ）
　　　　　札幌市中央区北２条西２丁目９
　　　　　TEL：011－222－6611
会　　費：5,000円（２次会は別途2,500円で予定しています）

来賓に緒方副学長をお迎えして大学の近況などもお話して頂きます。
懇親会では、好評のビンゴゲームも予定しております。
道外の方も、是非、皆様のご参加をお待ちしています。
＊参加申込等につきましては平成27年12月より配信の三水会ＨＰをご覧ください。

編集後記

今年も猛暑に台風被害という例年通りの夏となりました。異常気象も常態化すると慣れてしまうものです。しかし、戦争と東日本大震災と原発事故については決して忘れてはいけないと思います。これらの経験こそ、これからの異常気象や環境変化、そして危うい日本と世界の政治に対して教訓となるからです。会員の皆さんのますますのご活躍によって、より良い社会になることを願っております。今年は全学同窓会の講演会も開催されます。ぜひ、多くの皆さんにご参集いただき、情報交換の場にしていただきたいと思います。

第50回

北里大学同窓会講演会のご案内

講 演

東日本大震災からの復興支援活動

～越喜来(おきらい)の海から見た再生～

佐 藤 寛 志 氏（さ とう ひろ し）

NPO法人
三陸ボランティアダイバーズ代表

講 演

三國の食育について

～味覚は心と気持ちを豊かにする～

三 國 清 三 氏（み くに きよ み）

洋食料理家
オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ

平成27年11月7日(土)

午後１時00分 開場 ～
午後１時20分 開演

開催場所 北里大学相模原キャンパスMB号館 2階 大講義室

参加費 どなたも **無 料**

参加申込 下記の海洋生命科学部同窓会・三水会(さんすいかい)事務局まで

TEL/FAX : **0120-873-135**
E-mail : information@kitasato-sansuikai.jp

参加人数を
申し込み下さい

申込締切 平成27年 **10月31日**
定員になり次第締め切ります

詳細は三水会HPをご覧ください **http://kitasato-sansuikai.jp/**